



周術期のオーラルマネジメント

兵庫医科大学歯科口腔外科学講座

主任教授 岸 本 裕 充

平成24年度診療報酬改定で、「周術期の口腔機能管理」(周管)が新設されました。これは演者が「オーラルマネジメント」(OMと略)として早くから取り組んで来たものに近く、がん患者などの手術(全身麻酔を実施する場合に限る)や放射線治療、がん化学療法の前後に、歯科でOMを行うことで、術後肺炎や手術創感染、口内炎などの合併症を予防もしくは軽減できることを期待されています。OMによって、治療成績や患者のQOLが向上するとともに、医療費の削減にも寄与できると思われれます。

周管は、1) 医師からの依頼、2) 歯科医師による周術期OMの計画策定(周計)、3) 「口腔環境の整備」を意識したOM、の3つのステップから成ります。

まず1)において、演者のような口腔外科医が手術などをし、自分でOMもする場合には依頼は不要ですが、通常は手術などを担当する医師からの依頼が起点となります。歯科で周管が新設され1年以上を経過しましたが、まだまだ医師・看護師への周知は充分とは言えません。全身麻酔に伴う歯の損傷などを予防することは、従来からニーズの高い処置であり、まずは歯科への依頼が発生する連携体制を構築し、それから術後肺炎や口内炎対策など、OMによる効果が期待できる対象を医師・看護師にアピールしていくべきでしょう。

次に、2)周計においては、医師や看護師には難しい口腔の専門的な評価も加味して、ケア・治療の計画を考えます。パノラマX線写真や歯周ポケットの測定などで、抜歯などの歯科治療が必要な歯の有無を判断する、というのは歯科医師には当たり前ですが、他職種には難しいことです。

抜歯か保存かは、通常は動揺度や歯周ポケットの深さ、根尖病巣の状態などを総合的に判断して決められるでしょうから、歯科医師によって抜歯の基準が多少異なることがあります。これが周管では、歯・歯周の状況だけではなく、手術などの治療の種類も加味した判断を求められることがあります。「心臓弁置換術後に抜歯すると感染性心内膜炎のリスクがあるので、術前に抜歯しておこう」、「根尖病巣があるが、この抗がん剤の治療であれば治療中に急性化する可能性は低く、治療開始まで日が少ないので抜歯は見送ろう」というような判断で、病院歯科などでの研修の経験が望ましいでしょう。

そして、3)の口腔環境の整備では、狭義の口腔ケアとされる口腔清掃だけでなく、患者への指導も重要ですし、う蝕や歯周病への対応、義歯の治療が必要な場合が少なくありません。治療開始までの限られた期間に、抜歯後感染などのトラブルを起こさないよう抜

歯する、というような技術の高さも要求されます。

周術期の「口腔ケア」だけでは不十分で、OM、つまり口腔ケアに加えて、教育、評価、治療という要素も必要です。これを CREATE という英単語に当てはめて、以下のように整理しました。口腔ケアである清掃(Cleaning)とリハビリ(Rehabilitation)からはじまり、ブラッシング指導のような教育(Education)、そして評価(Assessment)、さらに抜歯などの歯科治療(Treatment)を適切に実践できれば、おいしく食べる(Eat)、もしくは、楽しむ(Enjoy)ことが可能となり、これらの頭文字を順に並べると CREATE、という訳です。

演者らの取り組みをご紹介します。問題点の解決のヒントも示したいと思います。

【略 歴】

平成元年3月 大阪大学歯学部卒業

平成元年6月 兵庫医科大学病院臨床研修医（歯科口腔外科）

平成8年9月 兵庫医科大学歯科口腔外科学講座 助手

平成14年1月～平成16年1月 米国インディアナ大学医学部外科ポスドク

平成17年4月 兵庫医科大学歯科口腔外科学講座 講師

平成21年4月 兵庫医科大学歯科口腔外科学講座 准教授

平成25年4月 兵庫医科大学歯科口腔外科学講座 主任教授、現在にいたる



口腔機能を重視した継続性のある 歯科医療の提供

前奥羽大学歯学部成長発育歯学講座
歯科矯正学分野教授 東北矯正歯科学会

会長 氷室利彦

顎顔面が成長発育し口腔機能が発達する時期における咬合異常の徴候を検出し早く対処することが重要です。乳歯の齲蝕は、後継永久歯の萌出空隙を失わせ、二次的に発生する叢生リスクを高めます。齲蝕をつくらないように口腔衛生を管理したり、齲蝕によって喪失した歯の萌出空隙を確保したりすることは、予防矯正の一つの手法です。

混合歯列期における前歯の著しいオーバージェットやクロスバイトを伴った上下顎第一大臼歯の咬合関係の異常が見られる場合には、抑制矯正として症状を早期に是正し永久歯列期での本格矯正治療に備えることが必要です。歯列弓形態の対称性、Class I 関係、対称的な機能運動が得られるよう成長発育を促します。

• 成長発育期の歯科医療の重要性

口腔機能は、生物としての基本機能である呼吸や嚥下に加えて、小学校に入学する6歳ころの発音機能の完成、永久歯の萌出に伴う咀嚼機能の成熟、と成長発育につれて備わります。乳歯列期にみられる非対称性の咬合は、頭蓋底の異常が原因しており6歳までに咬合機能の対称性をとらなければならないとの指摘があります。上下顎第一大臼歯の咬合の確立は、前後的、左右的不正咬合の徴候を検出する重要な要点であると思われます。

永久歯列は、6歳からおよそ18歳ころまでの12年もの時間をかけて完成します。小学生の時期は第一大臼歯から前方の咬合が形成され、12歳以降では第一大臼歯から後方の咬合が形成されることとなります。とりわけ混合歯列期には、齲蝕、口腔習癖、著しいOJ、過蓋咬合、埋伏歯、過剰歯、機能性クロスバイト、叢生、下顎偏位など不正咬合のリスクファクターが見られます。こうした徴候を早く検出し、機能的な要因を取り除くことが治療のタイミングを判断する上で大切です。

• 機能的顎矯正療法の実際と効果

機能的顎矯正装置のほとんどは可撤式ですので、口腔衛生に問題のある患者さんも安全に長期間使用することができます。本講演では、ファンクションレギュレータ（フレンケル装置）とツインブロック装置のプロトコールや調整法について解説し、どのような成果が得られたのかを確認します。

• 患者・家族への説明の要点

デジタル機器の発達でデータを安価に取り扱えるようになり、口腔内写真を初診時から診療ごとに毎回撮影することが可能となっています。タブレットで口腔内の画像を拡大し問題の部位を指し示しながら、患者さん、スタッフとチェアサイドで具体的に確認して治

療を進めることができるようになりました。こうしたコミュニケーションツールの応用は、医療の質の保証に繋がります。

子どもの歯科治療で十分な効果を上げるためには、家族の協力が必要です。患者さんや保護者に患者さん自身の写真を使って治療の内容を丁寧に説明することで治療に対する積極性が高まります。患者さんの口腔内の問題がどう改善に向かっているのか、口腔内写真を撮影して患者さんと情報を共有する「見える歯科医療サービス」の意義について解説します。

発育期の歯科医療は、患者さんの人生という長い時間の始まりに関わり、その後の口腔環境に大きく影響します。新しいコミュニケーションツールを取り入れ、子どものごころから一貫した継続性のある管理によって、より良い口腔の健康が達成されるのではないかと考えています。

氷室利彦 1953年 岩手県生

2012年－現在	東北矯正歯科学会会長
2012年－現在	公益社団法人日本矯正歯科学会理事
2012年－現在	特定非営利活動法人日本顎変形症学会名誉会員
2012年	VI International Congress IFUNA Hiraizumi 大会長
2011年－現在	一般社団法人日本口蓋裂学会監事
2009年－現在	Oral Function Mesh Collaboration 代表
2007年－2013年	東北大学非常勤講師
1999年－2012年	奥羽大学教授，同大学大学院教授
1993年－1999年	奥羽大学大学院助教授
1992年－1999年	奥羽大学歯学部助教授
1991年－1992年	米国ロマリダ大学客員講師
1984年－1992年	東北歯科大学講師
1988年	学位記受領（東京歯科大学第936号）
1980年－1984年	東北歯科大学（現奥羽大学）歯学部助手
1978年	東北歯科大学歯科矯正学講座専攻科入学
1878年	東北歯科大学卒業

主な著書

- ・口腔科学（共著）、2013、朝倉書店
- ・最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正（共著）、2011、医歯薬出版
- ・チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド2（共著）、2009、医歯薬出版
- ・第5版 歯科矯正学（共著）、2008、医歯薬出版
- ・チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド（共著）、2004、医歯薬出版
- ・カラーアトラスハンドブック 矯正歯科臨床ヒント集（共著）、2004、クインテッセンス出版
- ・混合歯列期の矯正歯科治療（共著）、2002、医歯薬出版
- ・Brain and oral motor function and dysfunction（共著）、1995、Elsevier Science

主な訳書

- ・システムイズド オルソドンティック メカニクス（共訳）、2002、エルゼビア サイエンス
- ・ツインブロック機能療法、2006、医学情報社



私と審美材料

～現代のマテリアルセレクション～

ノリタケデンタルインフォメーションセンター

主任インストラクター 山田 和伸

審美修復という概念が浸透されるにつれ、いかに自然感のある人工歯を作るか、求められる人工歯の色調と形態や隣在歯とのバランスをどうするか、歯周組織に適應する人工歯の要点は何なのか、インプラントに対する上部構造にどう対応するかといった観点で、それぞれに高いクオリティーの審美性が求められてきた。そして同時に、さまざまな人工歯用の歯冠材料と周辺機器が開発され、今日に至っては技工工程の一部をCAD/CAMが支援するまでになった。

補綴領域におけるCAD/CAMは、スキャンングの精度および設計の自由度と操作性、そして技工作業のなかで応用できる行程が拡大され、またそれらを再現する加工精度も日々向上している状況である。加えて、加工される素材もワックス、レジン、金属、そしてセラミックスなどさまざまなものに應用されるようになり、その素材自体も進歩している。

单相の結晶構造を有するイットリウム安定化二酸化ジルコニウムは、優れた曲げ強度(900～1300MPa)を示しながら生体安全性も有するため、これまでの素材では予後に大きな期待のできない臨床ケースにも應用されている。さらに最近では、透明度や色調、表面性状などにも改良が加えられて、この優れた材質を最大限有効に利用した審美修復術式が徐々に確立してきた。ただし長期的安定を実現するためには、実際に操作する歯科技工士にかかわる部分が依然大きいことは否めない。

本講演ではおもに、日ごろ実践している演者なりの審美修復物の製作方法や、考えられる臨床上のトラブルを事前に把握した、より安全・確実なセラミックスの使用方法について述べたい。また、いくつかの国々を廻って感じた紀行話も織りまぜるつもりである。

講師略歴

1961年11月生まれ

1983年3月 香川県歯科技術専門学校卒業

1989年3月 国際デンタルアカデミーラボテックスクール卒業

1989年4月 株式会社カスプデンタルサプライ入社

1992年7月 カナレテクニカルセンター所長就任

2007年10月 (株)カスプデンタルサプライ代表取締役就任

現在 ノリタケデンタルインフォメーションセンター主任インストラクター

役職 日本歯科技工士会 生涯研修認定講師

日本歯科色彩学会 理事

香川県歯科技術専門学校非常勤講師 東海歯科医療専門学校非常勤講師

大阪大学招聘教員

所属学会：日本歯科色彩学会・日本歯科審美学会・日本顎咬合学会

日本歯科技工学会・OJ 会員

所 属：(株)カस्पデンタルサプライ／カナレテクニカルセンター

連 絡 先：名古屋市天白区梅ヶ丘 2-1319

tel/052-807-6980・fax/052-807-7781・e-mail/ yamadakanare@cuspd.net



プラークコントロールを通して、患者さんとの関わり方 ～臨床DHの底力～

NDL 株式会社代表

長谷 ますみ

近年超高齢者社会を迎える中で、歯周病のコントロールが大きな課題となっています。周知の通り、歯周病は本来常在菌が関わっている感染疾患であり、プラークコントロールが大きな要となります。

プラークコントロールは歯科衛生士の本文ではありますが、個々の生活環境や抵抗力などに関与しているため、単なるスクレーピングやPMTCだけの医療行為だけでは継続したメンテナンス管理を実践することは難しい事も事実です。

今回は、私の臨床経験や症例から、モチベーションや信頼関係の構築のノウハウ、信頼を得るプラークコントロールのテクニック、また根面カリエス予防やメンテナンスシステムのあり方などについて歯科衛生士がどのように患者様のプラークコントロールに関わっているのかをご紹介させていただきたいと思います。

【略 歴】

1964年 大阪にて出生

1985年 大阪府立公衆衛生専門学校歯科衛生学科卒業

同 年 大阪府吹田市 岡歯科医院(岡賢二先生の下) 10年間勤務

1995年 プロフェッショナルハイジニスト(フリーランス)として独立。

複数の診療所にて、保険診療主体に歯周治療と予防管理に携わる。

2002年 みんなの会を設立

2004年 クリニカルハイジニストを育成のための mint-seminar 事業を立ち上げる

2011年 NDL 株式会社 設立

主な著書

「SRPのArt&Science」デンタルダイヤモンド社 2011年8月発刊

「患者さんが喜ぶ 歯ブラシコーディネート術」デンタルダイヤモンド社 2013年11月発刊

①12:30~13:15 (株)インプラテックス

コバルトクロムシリンダーを用いてのインプラント技工の提案

(株)カロス技術部長 古家 豊

(株)日本歯科金属とNインプラントロジックが共同開発し、昨年認証を受けた『コバルトクロムシリンダー』は、主要なインプラントメーカーのスクリーリテン式上部構造製作に対応した、ロストワックス法用のシリンダーです。本品を使用することにより、CAD/CAM等特別な設備投資をせず、さらに合金金パーツを用いたロストワックス法と比較し材料費を抑えた、精密なインプラントブリッジの製作が可能になります。また、インプラントシステムの混在にも対応可能です。

②13:15~14:00 デンツプライ三金(株)

エクリプスレジンシステム 従来の義歯・補綴システムに新たな技術革新

義歯・補綴用レジンシステム『エクリプスレジンシステム』は埋没操作不要、MMAモノマーフリー、高い適合性を特徴としたレジンシステムで、従来の義歯製作工程に新たな技術革新をもたらします。

従来法と同様にワックスのような操作性で歯肉形成する事ができ、フラスコを用いた埋没操作を行うことなく、専用重合器によりそのまま重合する事が可能です。ベースプレートレジン、セットアップレジン、カウントゥアレジンの3種類のレジンで義歯製作します。カウントゥアレジンは4種類のシェードで構成され、ベースプレートレジンにはこの4シェードに加えクリア色がラインナップされており、多様な補綴物の製作に対応、修理・裏装も可能です。

ウレタンメタクリレート系レジンを中心とし、メチル、エチル、プロピル、ブチルメタクリレートを含む、体にやさしい材料です。また、世界市場で10年以上の臨床実績により、細胞毒性、遺伝毒性、生体刺激性、組織刺激性において問題ないことが確認されています。

今回、「エクリプスレジンシステム」の製作手順と適応症例を例示致します。

そこで、完全な再現性、製作時間の短縮、そして歯科技工士の作業環境と患者様に優れた生体親和性を持つ、革新的な光重合型レジン「エクリプスレジンシステム」をご紹介します。

③14:00~14:45 日本ビスカ(株)

歯科医院における予約システム活用術

日本ビスカ(株) 蓮池 健二

最近話題の診療予約システム。歯科業界でも徐々に導入が進み、「そろそろ予約システムを入れようか?」と考える歯科医院が増えてきています。

手書きノートのアポ帳からパソコンのアポ帳へ、アナログからデジタルに変わることで、予約受付のスタイルが大きく変わります。

「治療中断という言葉はなくしたい」をコンセプトに作られたビスカ・Mr.WEB予約Vを活用することによって、今までの予約受付のスタイルから、どのように変わるのか、治療中断が発生する本当の原因はなにか。そしてビスカ・Mr.WEB予約Vを導入することによってどのようにこの問題が解決していくのか。事例や数字をまじえて、初めて話を聞かれる方にもわかりやすく解説します。

また、「どのようなメリットがあるのか? 費用対効果はあるのか?」という疑問や、「歯科は診察が複雑なため、患者さんが勝手に予約を取って大丈夫か? 治療内容によって診療時間が違うので対応できないのではないのか? 補綴物を発注している間に予約を入れられては困る。操作が難しいのではないか?」とや不安に対して丁寧に解説します。

当日はビスカブースでビスカ・Mr.WEB予約Vのデモンストレーションも行っておりますので、セミナーの後に実際に操作も行っていただけます。

④14:45~15:30 (株)フラット

新しいデバイスを使用した口内法X線撮影について

岡崎市 清水歯科医院 清水 康行
(愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座 非常勤講師)

①口内法X線撮影の経過と口内法撮影用デバイスの歴史。

②デバイス撮影の利点。

- 撮影部以外の被爆を避けること。
- 窮屈な撮影時間の短縮すること。
- 簡単に再現性の高い画像を得ること。
- イメージングプレート(IP)の傷つき防止すること。
- 小児患者様を撮影する場合のデバイスの効力。
- 訪問医療等における寝たきり患者様や肢体不自由の患者様を撮影する場合のデバイスの効力。

③デバイス撮影での問題点

- 撮影部位、サイズによってデバイスが異なりアイテム数が多く管理がわずらわしいこと。
- 限られた診療時間内における消毒作業の負担が大きいこと。
- 口腔内にIPおよびフィルムの接触による痛み、違和感があること。

④デバイスに求められる機能

- さまざまなケースにも対応できる構造であること。
- 管理作業の効率化、コスト削減を図ることができること。
- 撮影時の痛み違和感の軽減ができること。

⑤イメージングプレート(IP)撮影用保護袋の紹介。

⑤15:30~16:15 サンスター(株)

がん周術期患者様への口腔衛生管理
～診療所勤務の歯科衛生士に求められる対応～

サンスター(株) 医科歯科営業部学術 辻本 好恵

現在、2～3人に1人ががんに罹患すると言われ、平成20年の患者調査では、約150万人のがん患者様がいます。がんに対する治療は、その治療形態が入院から通院へ変容しており、ご自宅で療養されているがん患者様の口腔衛生管理が、歯科衛生士に求められるようになりました。これまで「がん」という疾患を身近に感じていなかった方も、今後担当患者様ががんに罹患され、必然的にがん治療中の口腔管理を行う機会は、後益々増加することが予想されます。そのため、がん治療において歯科衛生士がどのようにがん患者様に関わるべきか知っておくことは急務と考えられます。

また、既にご存知の方も多いと思いますが、昨年より周術期口腔機能管理が診療報酬として記載されました。これにより、がん治療に携わる医科医療従事者の方々に、がん治療中に歯科医師や歯科衛生士と連携して行う口腔管理および口腔衛生維持の重要性が広く認知されつつあります。そのため、がん治療チームの一員として歯科衛生士には、何を見て、何を評価し、何を目的に、どう介入すべきかを適切に判断することが求められます。

今回のセミナーでは、外科手術の周術期(手術前、手術中、手術後の一連の期間)にあるがん患者さんを対象とした時、歯科衛生士が行うべき評価、指導、そしてケアについてご紹介させていただきます。

⑥16:15~17:00 パナソニックデンタル(株)

周術期口腔機能管理の取組みと口腔ケアにおける細菌カウンタの活用

市立池田病院 歯科口腔外科 口腔ケアセンター 主任部長 大西 徹郎

口腔内常在菌を中心とした口腔環境と全身の健康との関係はすでに多くの報告があり、現在様々な研究が進められています。特に誤嚥性肺炎は口腔内細菌の上気道を経由した直接的な感染であり、口腔環境と最も関係が深い全身疾患と考えられています。肺炎以外にも口腔内細菌が全身の血管において血栓形成を促進し、動脈硬化を誘発すること、糖尿病のインスリン抵抗性に関与すること、原因不明の熱発(不明熱)の原因となることや認知症の発症との関連なども指摘されています。

すなわちこれらの近年の研究により大きな意味を持つことが明らかになった、口腔内細菌のコントロールが歯科臨床や口腔ケアの重要な目的であると考えられる。当院では平成16年に本邦で初めて院内に口腔ケアセンターを設置し、周術期口腔機能管理を中心とした院内の口腔ケア、口腔管理を実践、統括管理している。

一方、平成24年5月にパナソニックデンタル株式会社から口腔内細菌カウンタが発売となった。本製品はDEPIM測定法を使用し、口腔内総菌数を簡易的に約60秒で測定できるものであり、口腔ケアや一般歯科臨床などの医療の現場において多様な活用方法があると期待されている。

今回は当院での取り組みをご説明し、歯科医療の方向性の一つとなった周術期口腔管理に関する新しい知見と、口腔ケアにおける細菌カウンタの使用用途などについてご紹介したい。

⑦17:00~17:45 (株)ヨシダ

簡単・安全な予防ケアのご提案

日本歯周病学会認定歯科衛生士 日本顎咬合学会認定歯科衛生士 水谷 由佳

全身の健康は口腔の健康から…と言われております。

健康管理の入り口は口から始まる為、毎日の口腔ケアは欠かせないものです。

定期的に来院して頂きどんなにプロケアをしっかりと行っている、患者さんが毎日行うホームケアが追い付いていかなければ、口腔内のコントロールは難しくなると思います。

現在、数百種類とあるホームケア製品の中で、患者さんが求めるケア製品として、効率性、安全性、継続性を重視してツールを選ぶという結果が出ています。

そんなホームケアのツールとして今、洗口剤はたくさんの患者さんが使用されています。

今回、紹介させて頂くピュリフレッシュシリーズは、どなたにも安心して、簡単に、継続してご使用いただけるよう、使用する素材を厳選し、天然成分を多く使用しているため、低刺激でありながら、高い洗浄力を発揮し口腔内のホームケアに的確な効果を期待できます。

それぞれの製品の特徴、患者さんへの褒め方、使用方法など、お話しさせて頂きたいと思っております。

⑧17:45~18:30 スリーエムヘルスケア(株)

One Day トリートメント! 3M™ ESPE™ ダイレクト クラウンのご紹介

スリーエムヘルスケア(株) 歯科用製品事業部 鈴木 順

患者は本来の白い歯を取り戻す治療を望んでおり、それを叶えるための材料が上市されております。しかしながらハイブリッドレミックスクラウン、メタルボンド、オールセラミックスクラウン等の歯冠修復材料を用いた白い歯の治療を受けている患者の割合は決して高いとは言えません。スリーエムヘルスケア(株)では保険診療と従来の自費補綴物の橋渡しを可能とする、リーズナブルな費用で白い歯を取り戻す歯冠修復材料「3M ESPE ダイレクトクラウン」を発売いたしました。今回は製品コンセプトや患者が真に求めている治療などを患者アンケートに基づきご紹介させていただきます。

①10:00~10:45 スリーエムヘルスケア(株)

コスト削減でリーズナブルな価格を可能にした One Day トリートメントコンセプトの3M™ ESPE™ ダイレクト クラウンが登場

東京都開業 日本補綴歯科学会認定医 大谷 一紀

メタルボンド、ハイブリッドセラミックス、オールセラミックスなどの歯冠色の補綴物を自分の診療に取り入れてまいりました。これらの白い歯によって自然感のある口腔内が復活し、患者さんが喜んでくれるのを見るのは歯科医として嬉しく思おう瞬間であります。しかしながら白い歯を選択できる患者の割合は決して多くはなく、経済的理由からメタルクラウンを装着することも少なくありません。一方、多くの患者さんがリーズナブルな自己負担で白い歯の修復を望んでおり、ここには大きな歯科医療のマーケットがあるのです。

今回の講演では、スリーエムヘルスケア(株)から上市された「One Day トリートメント」と「チェアサイドで歯科医がつくる」「リーズナブルな価格」をコンセプトにしたダイレクトクラウンを紹介いたします。

②10:45~11:30 (株)モリタ名古屋支店

ペリインプランタイトィス ~インプラントのメンテナンスで何ができるの? ~

フリーランス歯科衛生士 丸橋 理沙

歯科衛生士がインプラントとどう向き合うのか?

近年、インプラントに関係する疾患が増加しています。インプラント粘膜周囲炎やインプラント周囲炎という言葉を目にする事が多くなりました。

その中でメンテナンスに携わる歯科衛生士に何ができるのでしょうか?

歯科衛生士から患者さんに引き継ぐことや歯科衛生士から歯科医師にバトンタッチするタイミングなど考える事は多々あります。

最終補綴物が入った時点で、治療は終わるのかもしれませんが、患者さんにとっても、歯科医師、歯科衛生士の立場からもそこから次のステージであるメンテナンスに移行していきます。

メンテナンスに入るまでに行う事や入ってから行う事など各 Step で歯科衛生士がどこまで関与することができるのか?

さまざまな症例を供覧しながら皆様と共に考え紐解いていきたいと思えます。

●講師略歴

新大阪歯科衛生士専門学校卒業

新大阪伊藤歯科勤務

OSI ライブオペアシスタント担当

名古屋臨床補綴コース研鑽

Dr.Roy, Dr.Bach Le, Dr.Z.Home, Dr.J.Kan オフィスにて研鑽

現在フリーランス歯科衛生士 スタッフ教育、インプラントオペ介助、メンテナンス分野で活動

③11:30~12:15 ウエルテック(株)

周術期における口腔ケア

浜松医療センター 歯科口腔外科 医長 薮島 桂子

「周術期口腔機能管理」で、保険点数が算定できることをご存知ですか? 現状では、開業歯科医院での算定件数は3割程度という報告があります。

平成24年度診療報酬改定で「周術期口腔機能管理」が新設され、病院内での医科歯科連携はもちろん、病院歯科と地域歯科医院が連携し、周術期(全身麻酔で手術を受ける方や、がんに対する化学療法、放射線療法を受ける方)の歯科的処置が行われています。

周術期口腔機能管理は、全身麻酔時の歯の損傷、術後肺炎の発症予防、がん治療に伴う口腔粘膜炎など様々な合併症の軽減に寄与するものです。

患者の口腔状態は様々です。齶蝕や歯周炎の治療が行われず、感染した病巣を持ったまま免疫抑制・骨髄抑制の強い化学療法を受けると、歯や歯周組織に感染が拡大し、菌血症・敗血症に移行する恐れがあります。その為、術前・治療開始前の専門的口腔ケアは不可欠です。

また周術期の口腔合併症の予防・軽減の為には口腔清掃の継続が重要で、患者や、患者を取り巻く医療関係者に対して、適切に指導伝達することが歯科医療関係者に求められています。

今回は、周術期における口腔ケアに取り組まれる歯科医療関係者の皆様に、浜松医療センターにおける医科歯科連携、口腔機能管理の内容、浜松市における病院歯科と地域歯科医師会の連携について講演させていただきます。

④12:15~13:30 キング工業(株)

成功する歯科訪問診療

日本訪問歯科協会 広報担当理事 前田 実男

平成24年度の歯科診療報酬改定により在宅歯科医療の推進に拍車がかかりました。そのため多くの歯科医院が訪問診療に取り組まれるようになりました。

一方、患者さんやご家族・介護事業所が訪問診療に求めるレベルが、10年前に比べずいぶん高度なものになってきています。以前は義歯の調整だけでもありがたがられていましたが、今では、専門的口腔ケアから摂食機能療法、さらに栄養管理までが求められるようになってきています。

このような中、訪問診療に取り組まれる方が、どのような知識やスキルが必要になるのか、日本訪問歯科協会の会員の方から集めたデータをもとに、一般的な歯科医院が無理なく展開できる取り組み方をお話いたします。

1. 変わってきた訪問歯科への要望

2. 訪問歯科で失敗する歯科医院の傾向

3. 始めようとするときにまずく落とし穴

4. 成功する訪問診療 はじめの一步

5. 最低必要な保険請求の知識

東海信越地区歯科医学大会 ワークショップ

(-社) 愛知県歯科医師会

- 「外来環」コーナー 「骨粗しょう症」コーナー
- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度 (マウスガード)」更新用単位取得コーナー
- 「エピペン使用医師登録」コーナー 「周術期」コーナー
- 「障がい者歯科」コーナー 「医療監視」コーナー

(-社) 愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」
- 「(-社)愛知県歯科技工士会学術大会テクニカルコンテスト・カービングコンテスト優秀作品展示」

(公) 愛知県歯科衛生士会

- 第8回 (公)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 12:30 ①(株)インプラテックス「コバルトクロムシリンダーを用いてのインプラント技工の提案」
- 13:15 ②デンツプライ三金(株)「エクリプスレジシステム 従来の義歯・補綴システムに新たな技術革新」
- 14:00 ③日本ビスカ(株)「歯科医院における予約システム活用術」
- 14:45 ④(株)フラット「新しいデバイスを使用した口内法X線撮影について」
- 15:30 ⑤サンスター(株)「がん周術期患者様への口腔衛生管理～診療所勤務の歯科衛生士に求められる対応～」
- 16:15 ⑥パナソニックデンタル(株)「周術期口腔機能管理の取組みと口腔ケアにおける細菌カウンタの活用」
- 17:00 ⑦(株)ヨシダ「簡単・安全な予防ケアのご提案」
- 17:45 ⑧スリーエムヘルスケア(株)「One Day トリートメント! 3M™ ESPE™ ダイレクト クラウンのご紹介」

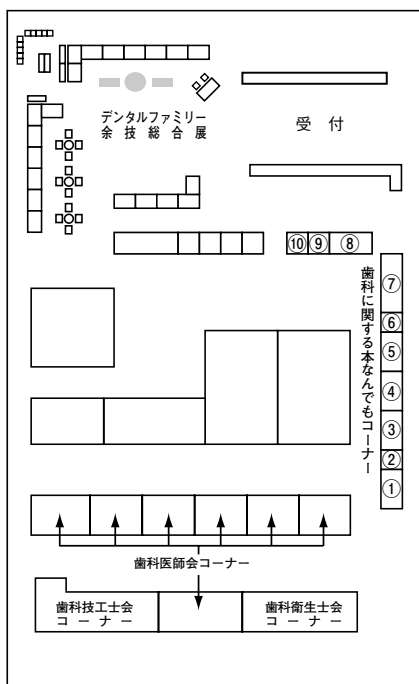
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

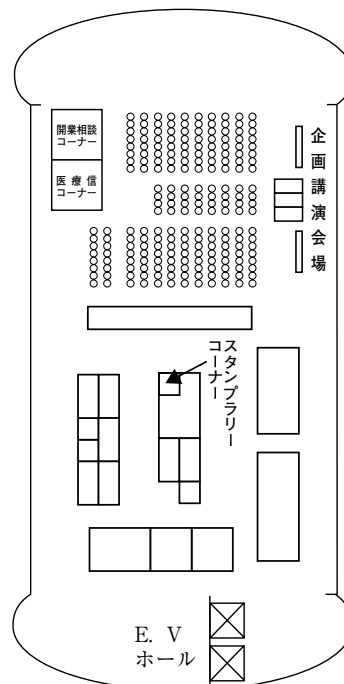
- ①(株)日本歯科新聞社 ②(-冊)口腔保健協会 ③医歯薬出版(株)
- ④(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑤わかば出版(株) ⑥(株)永末書店 ⑦クインテッセンス出版(株)
- ⑧(株)デンタルダイヤモンド社 ⑨(有)医学情報社 ⑩東京臨床出版(株)

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



東海信越地区歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

- 「外来環」コーナー 「骨粗しょう症」コーナー
- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度 (マウスガード)」更新用単位取得コーナー
- 「エピペン使用医師登録」コーナー 「周術期」コーナー
- 「障がい者歯科」コーナー 「医療監視」コーナー

(一社)愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」
- 「(一社)愛知県歯科技工士会学術大会テクニカルコンテスト・カービングコンテスト優秀作品展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

第8回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 10:00 ①スリーエムヘルスケア㈱「コスト削減でリーズナブルな価格を可能にしたOne Dayトリートメントコンセプトの3M™ ESPE™ ダイレクトクラウンが登場」
- 10:45 ②(株)モリタ「ペリインプラントイティス～インプラントのメンテナンスで何ができるの?～」
- 11:30 ③ウエルテック(株)「周術期における口腔ケア」
- 12:15 ④キング工業(株)「成功する歯科訪問診療」

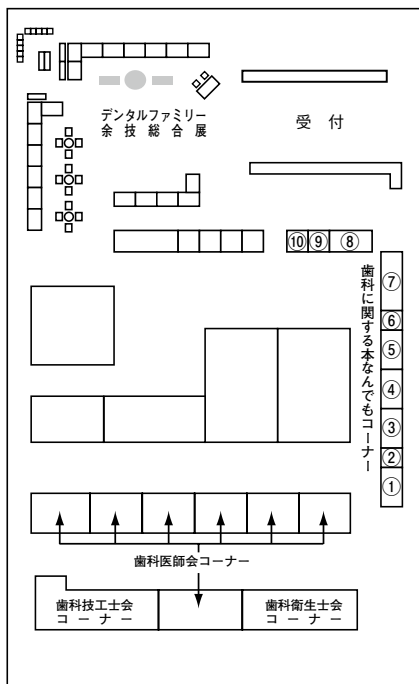
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

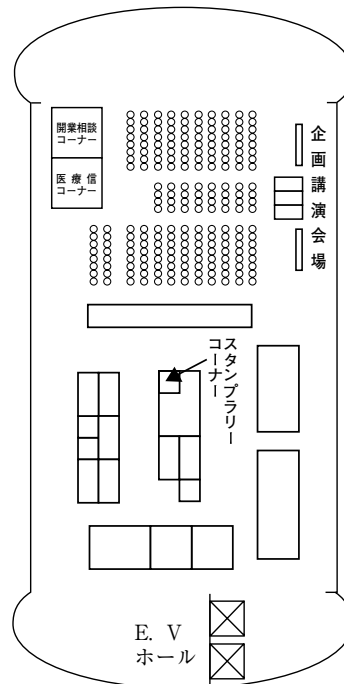
- ①(株)日本歯科新聞社 ②(一財)口腔保健協会 ③医歯薬出版(株)
- ④(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑤わかば出版(株) ⑥(株)永末書店 ⑦クインテッセンス出版(株)
- ⑧(株)デンタルダイヤモンド社 ⑨(有)医学情報社 ⑩東京臨床出版(株)

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



「外来環」コーナー

共催：(株)セキムラ

歯科外来診療体制加算、外来環は日常臨床の場で起こりうる突発的な緊急の事態に備えハード面（医院や機材）ソフト面（スタッフ）を設備する事で、患者様により安全でより良い治療を受けていただく事を目的としています。

この歯科外来診療体制加算を算定するために必要な要件の掲示又、必要となる機材の展示を行い、実際に見ていただく事で今後届け出をされる歯科医院の参考にしていただけるコーナーです。

「骨粗しょう症」コーナー

わが国における骨粗しょう症患者数は約1,200万人と推定されています。骨粗しょう症の80%は女性であり、50歳以降は閉経後骨粗しょう症が急増しますが、大部分の方が無自覚のまま、骨折の危険のある状態で生活しているといわれています。

近年、歯科で撮影されるパノラマX線写真は、特に50歳以降の女性における骨粗しょう症性骨折の危険を知る手段として有用であることが判ってきました。

愛知県歯科医師会の「骨粗しょう症対策医科歯科連携事業」は、愛知県行政から補助金事業の指定を受けており、特に骨粗しょう症のリスクの高い女性を、医科において早期に診断いただき、骨粗しょう症による骨折を未然に防ぐためのものです。

「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（マウスガード）」

更新用単位取得コーナー

平成25年度から「日本体育協会公認スポーツデンティスト」養成コースが始まり、講習カリキュラムの中にもマウスガードに関する講義・実習に多くの時間が割かれています。今後、スポーツデンティストを目指す上でも、重要なポイントと言えます。

マウスガード認定登録歯科医が認定登録を更新するために、2年の間に下記①～④の中から12単位以上取得し申請をすることにより更新していく制度の、②「歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修5単位」を実施いたします。

本会が企画いたしますビデオ・DVD研修は歯科医学大会のみでございますので、認定登録歯科医の方は是非お立寄り下さい。

- ①愛知県歯科医師会主催の認定登録歯科医研修会アドバンストコースの受講
7単位（年1回、2年間で1回は受講の義務あり）
- ②歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修
5単位（専用ブースで印もしくは参加証明書を配布いたします）
- ③マウスガード製作実績報告書の提出
1ケースにつき2単位、3ケースを上限とする
- ④愛知県歯科医師会が認める歯科医師会主催以外の関連研修会・講習会への参加
（参加証明書のコピーの提出） 1時間で4単位

「エピペン使用医師登録」コーナー 共催：ファイザー(株)

近年、食物アレルギーによってアナフィラキシーを引き起こし、場合によっては死亡に至る事例等が発生し、歯科におきましても、歯科治療中に使用した医薬品によりアナフィラキシーショックが発生した事例が報告されております。

上記のような事例が報告されていることから、現状では万一診療中にアナフィラキシーショックが発生した際に対応出来るような診療体制の確保が急務で、救急搬送までの補助治療としてアドレナリン注射液エピペンの有用性が報告されています。エピペンにつきまして、厚生労働省の承認条件として【使用医師登録】の講習を受けて頂いた先生のみ、使用が可能な薬剤で、本ブースでは、使用医師登録講習を実施しておりますので、この講習を視聴頂き、今後の診療中における救急時対応確保の一助として頂ければ幸いです。

「周術期」コーナー 共催：サンスター(株)

「周術期口腔機能管理における医療連携」

周術期口腔機能管理とは、がん患者等の手術（全身麻酔を実施する場合に限る）を実施する医師等との連携の下、歯科医師が行うがん患者や放射線治療もしくは化学療法を実施する患者の入院前から退院後を含めた一連の口腔機能管理を行うこととなっています。

平成24年度から実施されている周術期口腔機能管理は、実施件数が非常に少ないのが現状です。実施件数が少ないため、がん手術にとらわれることなく、全身麻酔手術全般に行えるように解釈も変化してきました。他の要因としては、システムの複雑さもその一因となっていると思われます。今回システムの流れを分かり易く、ご提示したパネルを本ブースで用意いたしました。

「障がい者歯科」コーナー

「愛知県歯科医師会の障がい者歯科認定協力医研修会6年間の報告」

本研修制度は、愛知県行政からの委託事業として、障がい者歯科医療に精通した歯科医師を養成し、その普及と啓発を図る事を目的としている。平成19年度より開催して今年で7年目を迎え、この6年間で157名が修了したが、年々、応募研修医の減少や研修後、障がい者歯科診療に携わっていない修了者も若干いる。また、愛知県内には12の歯科医療センターがあるものの、修了者各自の歯科医院と各郡市区歯科医療センターとの連携が取れていない現状が解った。過去6年の受講対象者のアンケートから、今後の本研修会の課題と展望を若干の考察を加えて報告いたします。

「医療監視」コーナー

医療監視とは、医療法第25条第1項に基づく保健所による立入検査のことを指し、その目的は「患者に適正な医療が確保されているか検査すること」にあります。

適正な医療を提供する為に、立入検査で指摘された事項については鋭意改善の対処を実施して戴きたいと考え、今回は「適切な医療を行う現場作り」に役立つパネル展示を行います。

自院の医療安全対策の参考にして戴けたら幸いです。是非お立ち寄りください。

第8回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会 「会員研究ポスター発表」

本会では、歯科衛生士の資質向上を目的とし、研修事業を充実させ、数々の情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、今回第8回を企画することができました。会員相互の研鑽の場として、また、近年の歯科衛生士業務の多様化に伴い、社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指す上で、自らの取り組みを5名が発表致します。少しでも目標を立てて、未来を見つめることができる有意義な場にしたいと思っておりますので、多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

記

- 発表 平成26年2月16日(日) 12:40~13:40
(予定のため発表時間は変更となることがあります)
- 会場 第1ファッション展示場ワークショップコーナー
- 発表者および演題(仮題)
 1. 「丈夫なからだはお口の健康から～健康格差の縮小を目指して～」
佐藤 恵子
 2. 「急性期病院における歯科衛生士の業務拡大に向けた取り組み」
今川久璃美
 3. 「訪問歯科衛生指導をはじめよう ― 新人DHのための手引き ―」
小林 敦子
 4. 「通所介護施設における口腔機能向上および栄養改善の複合サービスの効果に関する介入調査」
森下 志穂
 5. 「ホームレス者の健康相談を多職種連携のもとに実施して」
久田せつ子

●要旨

1. 「丈夫なからだはお口の健康から～健康格差の縮小を目指して～」

○佐藤恵子¹⁾

1) 佐藤歯科医院

現在、みのり会代表として「丈夫なからだはお口の健康から」を北名古屋市市民協働推進事業として展開しています。全てのライフステージに合わせた保健教育指導、予防を中心に、行っています。市民の皆さんに、もっとお口の健康について興味を持って頂き、お口の健康づくりを推進することにより、健康格差の縮小に繋がると考えています。

2. 「急性期病院における歯科衛生士の業務拡大に向けた取り組み」

○今川久璃美¹⁾ 渡邊理沙¹⁾ 鈴木 瞳¹⁾ 金森大輔²⁾ 中川量晴²⁾ 目黒道生²⁾

小林義和³⁾ 藤井 航⁴⁾ 松尾浩一郎²⁾

1) 藤田保健衛生大学病院 歯科 2) 藤田保健衛生大学医学部 歯科

3) 藤田保健衛生大学医学部 口腔外科 4) 藤田保健衛生大学医学部 七栗サナトリウム歯科

当院では4月より周術期口腔機能管理、嚥下回診、NST回診、緩和検診の院内チーム医療への歯科衛生士の参画を開始した。結果、歯科初診患者数は35%増加した。歯科衛生士が急性期病院での全人的医療に貢献しうることが示唆された。

3. 「訪問歯科衛生指導をはじめよう ―新人DHのための手引き―」

○小林敦子¹⁾ 竹下裕子¹⁾ 西川幸恵¹⁾ 山口ひさ子¹⁾

1) 愛知県歯科衛生士会 在宅訪問委員会

介護保険における歯科の居宅療養管理指導は伸び悩んでいる。制度の複雑さ、書類の煩雑さが一因であると思われる。初心者歯科衛生士が取り組みやすいよう手順と様式を在宅訪問委員会でまとめたので紹介する。

4. 「通所介護施設における口腔機能向上および栄養改善の複合サービスの効果に関する介入調査」

○森下志穂¹⁾

1) 国立長寿医療研究センター 口腔疾患研究部

平成24年度介護報酬改定において、選択的サービス複数実施加算が新設された。今回、口腔機能向上及び栄養改善に係るサービスを組合せて実施する場合に着目し、複合プログラムの有効性の検証を行うことを目的に無作為化比較試験による介入調査を実施したので報告する。

5. 「ホームレス者の健康相談を多職種の連携のもとに実施して」

○久田せつ子¹⁾ 伊相昌代¹⁾ 戸田文世¹⁾ 藤田紀江¹⁾ 三宅やよい¹⁾ 森 亮汰²⁾

水谷雄樹²⁾ 加藤光一²⁾

1) 公益社団法人愛知県歯科衛生士会 2) NPO 法人ささしま共生会

名古屋市内において野宿者を中心にした生活困窮者支援を行っているNPO法人「ささしま共生会」がある。その活動の一つとして、月1回の内科・歯科健診があり、健診のほか医療相談、生活相談や予防指導なども行っている。健診には医師、歯科医師、看護師、時としてヘルパー、その他がかかわり、予防指導に歯科衛生士が従事している。この事業に協力している多くの職種の連携から、支援を必要としている人々に対して積極的にアプローチしている状況を紹介しながら、ホームレス者の健康状態とその生活との関連等を報告する。

注) 発表の順番は記載通りではありません。

ポスターの掲示は、歯科医学大会期間中となります。

日本歯科衛生学会第8回学術大会発表ポスターの掲示もあります。

15日(土) 午後1時

外科的難症例インプラント補綴

～ 保険適用と適用範囲 ～

愛知県歯科技工士会 戸田 辰也

[目的]

1965年頃よりブローネマルク氏によりボンアンカードブリッチが始まって約半世紀が経ちインプラント治療が臨床応用されるようになり是非はともかく2012年4月よりインプラント治療が保険導入となりその保険適用条件に当てはまる症例に遭遇する機会があり、その保険適用条件を調べ、またその保険適用の条件下での材料選択、技工作業について報告する。

[考察]

本症例を通して、まず口腔内悪性腫瘍（以下口腔がん）の発生場所による名称と症状の違い、そして口腔がん外科的治療のための骨移植を施しての口腔内の再建について、インプラント治療の保険適用条件、その他の保険適用ではないが外科的難症例を可能にする骨造成治療の種類、本症例を通してのインプラント技工について順をおって示唆する。

[結論]

本症例での技工物製作は保険適用条件下で選択肢がたくさんある中での一つの提案でしかなくいろんな選択ができ今後も観察が必要と考える。

16日(日) 午前10時30分

「e.max を用いた All ceramics restoration の製作手順と臨床」

愛知県歯科技工士会 川村 真一

A はじめに

現在、歯科関連の文献ではオールセラミックスによる審美修復治療のケースが数多くみられている。

従来のメタルセラミックスに比べフレームの材質や光の透過性等、多種多様である為、その中からのケースに応じた使い分けが必要になってくる。

今回、e.max press における製作方法と注意点を説明したいと思う。

B 概要

1. e.max システムの概要および特徴
2. e.max press を使用する際の注意点
3. 実際の臨床例

C まとめ

オールセラミックスレストレーションは今後ますます増えていくであろう。

CAD/CAM のみによって作成されるもの、CAD/CAM を一部利用して製作されるもの、あるいはオールハンドメイドによるもの等、様々であるが、基本的な技工操作と修練を重ねた技術の上によって活かされるものである。過去の先人たちによって積み上げられてきた技術をしっかりと継承しつつ、より高めていくことが今後の歯科技工士が必要だと感じる。

東海信越地区歯科医学大会 生涯研修事業取得可能単位数

各団体主催の講演会・ワークショップ等に参加されますと下記単位を取得することが出来ますので、振るってご参加下さい。各内容については該当ページをご参照下さい。

日本歯科医師会 特別研修に該当致します。(10単位)

【日本歯科医師会会員】 2月15日(土)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.26
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)	3003	1単位	
・「エピペン使用医師登録」コーナー	2403	1単位	P.27
・「周術期」コーナー	2899	1単位	
・「障がい者歯科」コーナー	2904	1単位	
・「医療監視」コーナー	2399	1単位	
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.30
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.28
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	2609	1単位	P.20①
	2603	1単位	P.20②
	2113	1単位	P.20③
	2304	1単位	P.20④
	2402	1単位	P.21⑤
	2703	1単位	P.21⑥
	2503	1単位	P.21⑦
	3102	1単位	P.21⑧
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.36
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.36

2月16日(日)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「東海信越地区歯科医学大会特別講演」	2402	2単位	P.10
「愛知県歯科医師会企画講演」	2902	2単位	P.14
「愛知県歯科技工士会企画講演」	2605	2単位	P.18
「愛知県歯科衛生士会企画講演」	2504	2単位	P.16
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.26
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)	3003	1単位	
・「エピペン使用医師登録」コーナー	2403	1単位	P.27
・「周術期」コーナー	2899	1単位	
・「障がい者歯科」コーナー	2904	1単位	
・「医療監視」コーナー	2399	1単位	
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.30
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.28
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	3102	1単位	P.22①
	2609	1単位	P.22②
	2703	1単位	P.22③
	2907	1単位	P.22④
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.36
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.36

【愛知県歯科技工士会会員】

愛知県歯科技工士会生涯研修(自由課題)1日5単位に該当いたします。

【日本歯科衛生士会会員】

愛知県歯科衛生士会企画講演に受講された場合は、日衛の生涯研修制度に登録されます。

第28回デンタルファミリー余技総合展によせて



愛 歯 余 技 ク ラ ブ

会 長 白 井 暉 二

東海信越地区歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に第28回デンタルファミリー余技総合展を開催いたします。この展覧会はその名の通り、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、教育機関、その他歯科関係の会員、家族の余技作品展覧会です。

余技は極めて幅広いもので、過去27回にわたり日本画、洋画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、絵手紙、アートフラワー等を展覧してまいりました。今年度も、忙しい合間に少しずつ製作した小品や時間をかけた大作まで多数の作品を展覧いたします。またこれらの作品が、東海信越地区歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーの会場に、一輪の華を添えることができ大変嬉しく思います。ご参加の皆様には、是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄りご観覧下さい。

また2月16日(日曜日11:30～15:00)には茶席を設けますので皆様の「憩いの場、交流の場」としてご利用下さい。

第28回デンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、今年度も多くの方々のご協力をいただきました。会場の設営をしていただきました東海歯科用品協同組合をはじめ、歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会、愛歯余技クラブ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様にこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

